

(別記)

2019 年度御殿場市農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当市は、全耕作地面積に占める主食用水稲の割合が約64%となっており、麦・大豆・そばを中心に転作を推進している。

しかしながら、排水不良、気象条件等により、単収の低下を招いている。今後、主食用米の需要が減少していくことを考慮すると、転作をより推進していく必要があり、栽培方法の研究・改善等が課題となる。

また、農家の高齢化・担い手不足が問題となっており、農家戸数の減少が見られる。さらに、不作付地の拡大も進んでおり、対策を講じる必要がある。

2 作物ごとの取組方針等

転作の推進、不作付地解消のために、適地適作を基本とし、作物生産の維持・拡大を図っていく。

(1) 主食用米

安全・安心な米という消費者ニーズを受け、御殿場農業協同組合をはじめとした関係機関の指導のもと安全・安心で売れる米作りを徹底し、より高品質・良食味を目指す。以てブランド化を確立させる。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要の減少が見込まれる中、飼料用米の取組を推進していく。多収品種の導入推進を図る。今後、主食用米からの転換の促進が課題となってくるため、関係機関との連携により栽培技術を向上させていくことで単収を向上させていく。また、担い手への農地の集積を推進し、生産性向上を図っていく。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦、大豆においては、生産体制の確立を図り、単収の向上を図っていく。湿害等による単収の減少が問題となっているため、この地域特有の気候に合わせた栽培方法の研究を進め、技術を向上させていくことで単収を向上させていく。また、担い手への農地の集積を推進し、生産性向上を図っていく。飼料作物においては、不作付地の有効活用及び地域の畜産農家への供給を図る。特殊な機械を使用することから栽培農家が限られ、栽培を維持・拡大することが課題となるため、不作付地の情報提供等を密に行い関係機関とのさらなる連携を図る。

(4) そば、なたね

生産体制の確立を図り、単収の向上を図っていく。湿害等による単収の減少が問題となっているため、この地域特有の気候に合わせた栽培方法の研究を進め、技術を向上させていくことで単収を向上させていく。また、担い手への農地の集積を推進し、

生産性向上を図っていく。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

「スイートコーン」「ゴーヤ」「カンショ」「キャベツ」「タマネギ」を振興品目として拡大する。また、品質の向上を図っていく。野菜のみを栽培・販売する農家が少なく地元野菜の供給量の増加が課題となるため、御殿場農業協同組合をはじめとした関係機関の指導のもと栽培技術について研究していくことで、高品質で安全・安心な地元野菜の供給量の増加を図る。また、ファーマーズ等で需要のある野菜の生産を増加させるとともに、さらなる農家所得の増加を図る。

(6) 畑地化の推進

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	832.34	832.30	832.30
飼料用米	2.10	3.20	3.50
麦	9.03	11.70	12.20
大豆	3.31	4.30	4.50
飼料作物	15.67	15.67	15.67
そば	27.64	36.00	37.30
その他地域振興作物	6.66	15.00	18.00
重点推進作物	3.78	6.50	8.00
地産地消作物	1.10	6.50	8.00
その他	1.78	2.00	2.00

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度	目標
				(2018年度実績)	(2020年度)
1	スイートコーン、ゴーヤ、カンショ、キャベツ、タマネギ	直売による重点推進野菜作付助成	生産面積の増加	3.78	8.00
2	スイートコーン、ゴーヤ	直売による野菜作付助成（二毛作）	生産面積の増加	1.78	2.00
3	麦、大豆、そば	担い手の麦・大豆・そば作付助成	生産面積の増加	36.43	50.00
			品質区分の向上	15	13
4	麦、大豆、そば	担い手の麦・大豆・そば作付助成（二毛作）	現状維持	3.34	4.00
			品質区分の向上	15	13
5	飼料作物	担い手の飼料作物作付助成	現状維持	14.29	14.29
			二毛作の推進	0	0.2

6	飼料作物	担い手の飼料作物作付助成（二毛作）	現状維持	1.38	1.38
			新品種導入	0	0.2
7	飼料用米	担い手の飼料用米作付助成	生産面積の増加	1.78	3.10
			単収の増加	511	513
8	えだまめ、さといも 他 26 品目	直売による地産地消費野菜作付助成	生産面積の増加	1.10	8.00
9	そば	そばの作付取組助成（追加配分）	生産面積の増加	26.18	35.0
10	飼料用米	飼料用米の作付取組助成（追加配分）	生産面積の増加	2.10	3.50
11	スイートコーン、ゴーヤ、カシヨ、キャベツ、タマねぎ	高収益作物等の拡大への取組	生産面積の増加	0	0.2

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり